

平成19年度3月末の 財政状況をお知らせします

市の平成19年度各会計予算は、平成20年第1回登別市議会定例会で各会計補正予算が議決され、最終予算額が確定しました。

一般会計は、歳入では地方交付税や国・道支出金、諸収入などが当初予算額を下回った一方、市税や繰越金などが増加し、歳出では給与費が独自削減により減額となり、扶助費や普通建設事業費なども執行額が当初予算を下回る見込みで、歳入歳出予算の総額は192億5,329万円（当初予算比1億5,471万円減）となりました。

この結果、財源対策としての基金（貯金）などの活用は、当初予算では8億8,000万円を見込んでいましたが、2億7,000万円にとどまる見込みです。

平成19年度予算の3月31日現在における収入や支出の概況、住民の負担の状況、市債の状況などは次のとおりです。



平成19年度各会計予算執行状況

会計名	当初予算額	補正額	最終予算額	歳入		歳出	
				収入済額	収入率 (%)	支出済額	執行率 (%)
一般会計	194億 800万円	△1億5,471万円	192億5,329万円	169億8,157万円	88.2%	156億1,716万円	81.1%
特別会計	国民健康保険	1億1,681万円	69億6,041万円	57億5,249万円	82.6%	61億5,009万円	88.4%
	学校給食事業	△89万円	3億3,531万円	1億9,577万円	58.4%	3億 991万円	92.4%
	公共下水道事業	△5,404万円	27億1,866万円	10億3,684万円	38.1%	24億6,618万円	90.7%
	老人保健	△2億5,188万円	65億8,332万円	56億2,620万円	85.5%	59億4,614万円	90.3%
	簡易水道事業	△99万円	3,271万円	1,265万円	38.7%	2,802万円	85.7%
	介護保険	△2,737万円	28億 683万円	23億 838万円	82.2%	25億2,611万円	90.0%
	カルルス温泉スキー場事業	—	1億2,620万円	8,205万円	65.0%	1億 180万円	80.7%
合計	391億8,980万円	△3億7,307万円	388億1,673万円	319億9,595万円	82.4%	331億4,541万円	85.4%

市民の負担の状況

人口（3月31日現在）	市民一人当たりが負担した市税	市民一人当たりに使われた市のお金
52,905人	10万5,578円	36万3,922円

※市税収入と一般会計歳出総額の最終予算額を、人口で除して算出しています。

市債残高の状況

会計区分	残高	
一般会計	279億6,087万円	
特別会計	学校給食事業	1,504万円
	公共下水道事業	198億2,253万円
	簡易水道事業	5,819万円
	合計	478億5,662万円

※残高は千円の位を四捨五入しているため、合計欄とは一致しません。

一時借入金の状況

会計区分	借入金残高	
一般会計	4億円	
特別会計	国民健康保険	0
	公共下水道事業	9億円
	カルルス温泉スキー場事業	0
	合計	13億円

市有財産の状況

区分	面積・金額	
土地	638.2万平方㍍	
建物	28.9万平方㍍	
基金など	現金	35億4,258万円
	土地	10.9万平方㍍
その他	債権など	10億 437万円
	土地	6.4万平方㍍

※表記の額や数値は、いずれも3月31日現在のもので、出納整理期間（4月～5月）において変動する場合があります。

問い合わせ 財政グループ（☎85 1 3 3 1）